

2022年3月期 期末

決算補足説明資料

2022年5月13日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証プライム)

■ 2022年3月期 期末 連結損益状況

■ 2022年3月期 期末 セグメント別実績

■ 2022年3月期 期末 営業外及び特別損益等

■ 2022年3月期 期末 営業利益分析

■ 2022年3月期 期末 連結財務状況：対前期末

■ 2022年3月期 期末 連結キャッシュ・フローの状況

■ 2023年3月期 通期業績予想

2022年3月期 期末 連結損益状況



	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績				2022年3月期 通期予想 (2/10公表)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前期比		金額 (百万円)	達成率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	113,657	100.0	115,940	100.0	+2,283	+ 2.0	115,000	100.8
営業利益	3,486	3.1	2,183	1.9	▲1,304	▲ 37.4	3,100	70.4
経常利益	3,766	3.3	2,584	2.2	▲1,182	▲ 31.4	3,400	76.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,630	3.2	1,009	0.9	▲2,622	▲ 72.2	2,400	42.0

● 2022年3月期 期末業績概要 (対前期比)

- 売上高：前年同期の新型コロナウイルス感染症の影響からは回復するも、半導体不足による生産減の影響が継続した結果、前年同期とほぼ同水準。
- 営業利益：サプライチェーンの混乱に伴う運送費の高騰や原材料価格の高騰に加え、米国を中心とする人件費高騰による固定費の増加により▲1,304減益。
- 経常利益：主として営業利益の減少により▲1,182減益。
- 純利益：経常利益の減少及び繰延税金資産取崩等により前期比で▲2,622減益。

● 為替レート

損益換算レート (単位：円)	2021年3月期 平均レート	2022年3月期 平均レート	変動率
ドル	106.8	109.8	+3%
ユーロ	121.8	129.9	+7%
メキシコペソ	5.0	5.4	+8%
人民元	15.5	17.0	+10%
インドルピー	1.4	1.5	+6%
タイバーツ	3.4	3.4	+1%
ロシアルーブル	1.5	1.5	-
ブラジルリアル	21.0	20.4	▲3%

2022年3月期 期末 セグメント別実績

	売上高			営業利益		
	2021年3月期	2022年3月期	対前期比 増減	2021年3月期	2022年3月期	対前期比 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	44,202	42,201	▲2,000	364	1,230	+867
北南米	31,621	31,683	+62	251	▲1,729	▲1,979
欧州	20,533	20,973	+440	772	25	▲748
中国	20,419	20,146	▲273	1,460	1,499	+39
アジア	15,480	19,940	+4,460	740	1,851	+1,111
連結調整	▲18,598	▲19,004	▲406	▲100	▲694	▲593
合計	113,657	115,940	+2,283	3,486	2,183	▲1,304

● 2022年3月期 地域別業績のトピックス (対前期比)

- 日本【減収・増益】 半導体・樹脂材料などの供給問題を起因とする生産減の影響を受け売上高は減収。材料価格及び電力費等の生産費高騰の影響を受けるも前期からの固定費抑制の継続効果が減収影響を補ったことで利益は改善。
- 北南米【増収・営業赤字】半導体不足やサプライチェーン全体の混乱による生産減が影響し、現地通貨ベースでは減収となったが、為替換算の影響により売上高は増収。物流網の混乱、輸送費の高騰、材料費を含むインフレ、人手不足を背景とする人件費の上昇等により営業損失。
- 欧州【増収・減益】 半導体不足等に起因する生産台数の減少影響により、現地通貨ベースでは減収となったが、為替換算の影響により売上高は増収。自動車メーカーの突発的な生産調整及び原材料価格の高騰の影響を受け減益。
- 中国【減収・増益】 新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復するも、半導体等部品供給問題による生産減の影響を受け、前年水準の売上。継続したコスト削減効果が寄与し増益。
- アジア【増収・増益】 新型コロナウイルス感染拡大の影響、半導体供給不足を起因とする取引先の生産台数減影響を受けるも、前年に生じた大幅減産から回復し売上高は増収。人件費等の固定費削減活動の継続効果により利益は大幅に回復。

2022年3月期 期末 営業外及び特別損益等

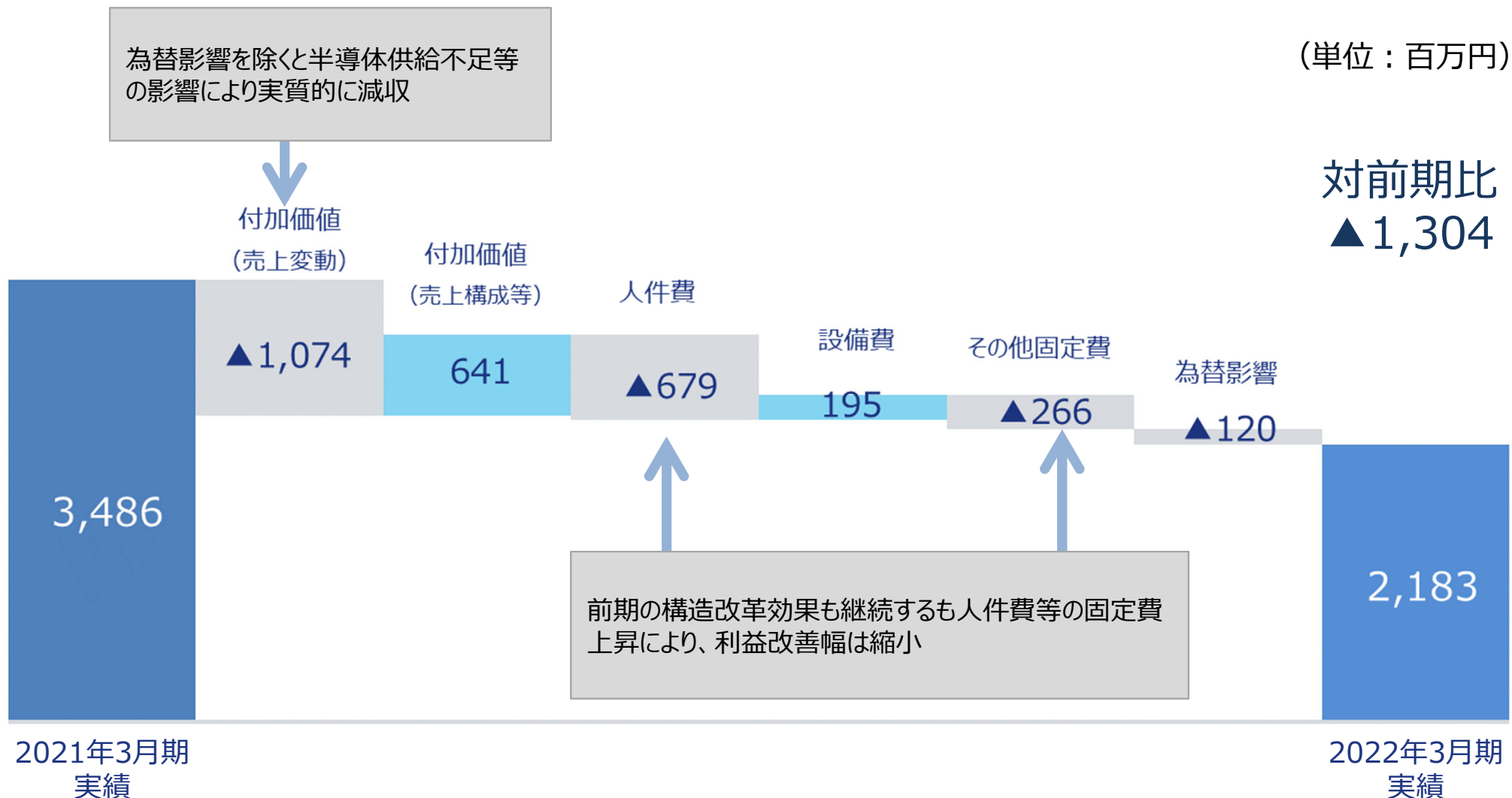


(増減額の符号は対利益符号)

連 結		2021年3月期 実績	2022年3月期 実績		主な増減要因 (金額は百万円)		
			金額 (百万円)	金額 (百万円)		対前期比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益		3,486	2,183	▲ 1,304	▲ 37.4		
営業外 損益	営業外収益	1,251	1,078	▲ 174		助成金 ▲544 為替差益の増加 +458 受取利息 ▲21	
	営業外費用	972	676	+ 296		為替差損の減少 +247	
経常利益		3,766	2,584	▲ 1,182	▲ 31.4		
特別利益		2,106	843	▲ 1,263		投資有価証券売却益 ▲1,194 受取保険金 ▲757 製品保証引当金戻入 +709	
特別損失		196	235	▲ 39		投資有価証券評価損 ▲38	
税引前当期純利益		5,675	3,191	▲ 2,484	▲ 43.8		
法人税等		1,743	1,635	+ 108			
非支配株主利益		302	548	▲ 246			
親会社株主に帰属する 当期純利益		3,630	1,009	▲ 2,622	▲ 72.2		

2022年3月期 期末 営業利益分析

前期の構造改革効果は継続するも、半導体供給不足による顧客の生産減の影響に加え、材料費高騰及び人件費上昇等のインフレ影響もあり利益縮小。



注：付加価値（売上変動）＝連結全体の売上増（為替補正後）×前期付加価値率（為替補正後）

2022年3月期 期末 連結財務状況：対前期末



連 結	2021年3月期末		2022年3月期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (百万円)
流 動 資 産	50,735	58.4	53,485	55.5	+ 2,750	総資産： +9,577 増加 ① 現預金 ▲1,013 ② 営業債権 ▲999 ③ 棚卸資産 +4,615 ④ 機械装置及び運搬具等の有形固定資産 +1,418 ⑤ その他投資有価証券 +4,980 (時価評価額の増加) ⑥ 繰延税金資産 +262
	36,125	41.6	42,952	44.5	+ 6,827	
	86,860	100.0	96,437	100.0	+ 9,577	
流 動 負 債	33,929	39.1	36,863	38.2	+ 2,934	負債総額： +3,373 増加 ⑦ 営業債務 +1,067 ⑧ 短期借入金 +3,725 ⑨ 未払金 ▲1,007
	17,452	20.1	17,891	18.6	+ 439	
	51,381	59.2	54,754	56.8	+ 3,373	
純 資 産 合 計	35,478	40.8	41,682	43.2	+ 6,204	純資産： +6,204 増加 ⑩ 有価証券評価差額金 +3,490 ⑪ 為替換算調整 +2,067 (ドルやユーロ等の主要通貨の円安影響) ⑫ 利益剰余金 +117 ⑬ 非支配株主持分増加 +277 ⑭ 退職給付に係る調整 +249
	86,860	100.0	96,437	100.0	+ 9,577	
	86,860	100.0	96,437	100.0	+ 9,577	

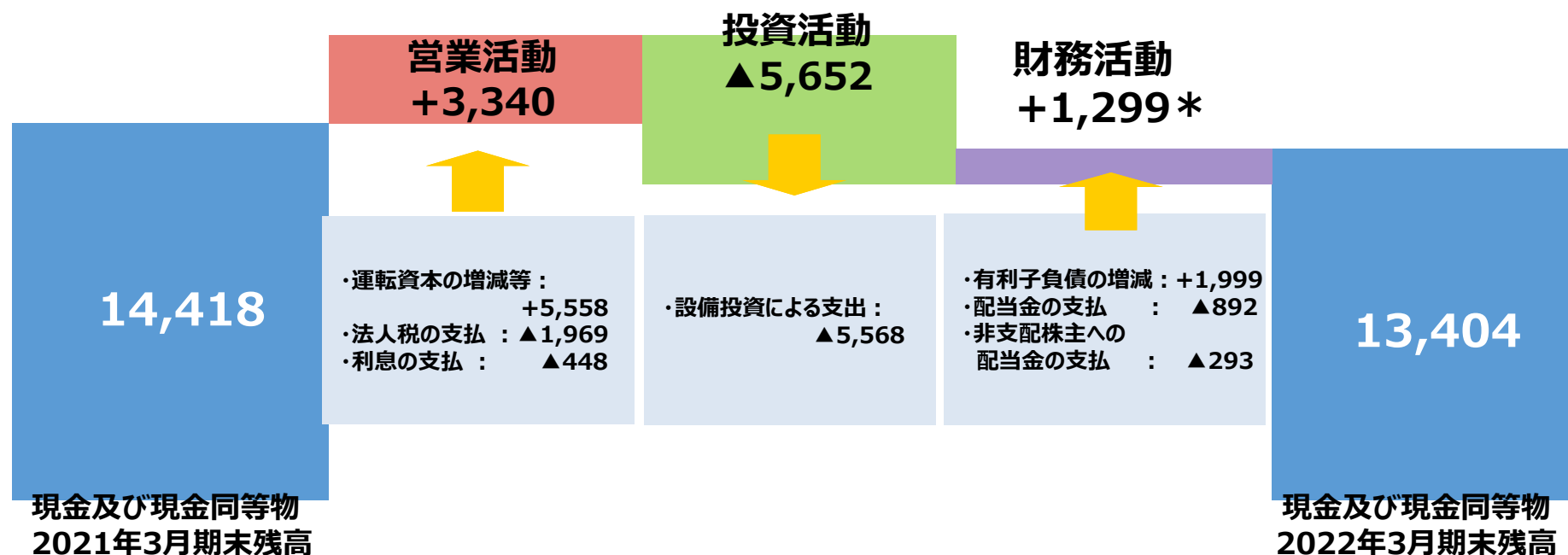
(注1) D/E レシオ・・・前期末 0.8 → 当期末 0.74

(注2) 自己資本比率・・・前期末 37.7 → 当期末 40.1

	前期末	当期末
①有利子負債	26,016	28,677
②自己資本	32,716	38,643
①/②	0.80	0.74

● 2022年3月期 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



* 現金及び現金同等物に係る換算差額 (+486百万円) を財務活動に含めております。

● 設備投資/減価償却の状況

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	
		実績	対前年同期
設備投資額	3,452	5,568	+2,115
減価償却費	5,340	5,245	▲95

2023年3月期 通期業績予想

連結	2022年3月期 実績		2023年3月期 業績予想	
	通期 (百万円)	通期 (百万円)	対前期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	115,940	128,000	+12,060	+10.4%
営業利益 【営業利益率】	2,183 +1.9%	2,500 +2.0%	+317	+14.5%
経常利益 【経常利益率】	2,584 +2.2%	2,400 +1.9%	▲184	▲7.1%
当期純利益 【当期純利益率】	1,009 +0.9%	1,000 +0.8%	▲9	▲0.9%
一株あたり純利益 (円)	27.91	27.68	▲0.23	▲0.8%
配当 (円)	25.0	—	—	—

*親会社株主に帰属する当期純利益

(注) 2023年3月期の配当予想額につきましては、現時点では未定としております。配当予想の開示が可能となった段階で公表いたします。

● 2023年3月期業績予想の想定レート

連結	2022年3月期 実績		2023年3月期 業績予想	
	通期レート (円)	通期レート (円)	対前期	
			増減額 (円)	増減率 (%)
米ドル	109.8	115.0	5.2	+4.7%
ユーロ	129.9	130.0	0.1	+0.1%

このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。